令和3年7月24・25日

近代遺構配置図

建物跡（推定：倉庫）

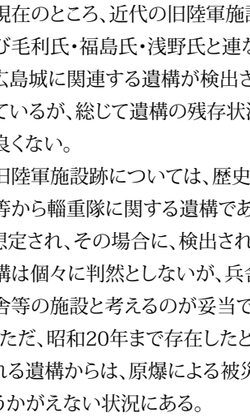
・発掘調査状況について

現在のところ、近代の旧陸軍施設及び毛利氏・福島氏・浅野氏と連なる広島城に関連する遺構が検出されているが、総じて遺構の残存状況は良くない。

旧陸軍施設跡については、歴史資料等から輜重隊に関する遺構であると想定され、その場合に、検出された遺構は個々に判然としないが、兵舎・厩舎等の施設と考えるのが妥当である。ただ、昭和20年まで存在したとみられる遺構からは、原爆による被災はうかがえない状況にある。

広島城に関する遺構については、現在までA区北側から建物の礎石、井戸跡等が検出されており、江戸期の絵図に示される武家屋敷を想起させるものである。

今回の発掘調査は、過去の発掘調査成果を補強し、16世紀末からの重層的な都市の歩みを解明していく一助になるものと考えられる。



煙突と煙道の跡

建物跡（推定：倉庫）

厩舎と水場関係施設の跡

建物跡（耐火煉瓦使用）

建物跡（推定：兵舎）

建物跡（推定：厩舎）

建物跡（推定：厩舎）

厠跡

厠跡

水場関係施設の跡

厠跡

A区

B区

C

G

N

P

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16

0 20m
(1:600)

※測量図面は令和3年7月現在